

平成23年度 職員提案表彰式



日時:平成23年12月26日(月)
場所:14C会議室

平成23年度 職員提案表彰式を開催しました！！

今年度は「改善」をテーマとし、
「ひらめいたら一歩前へ ～みんなで発想・実践・共有～」
をスローガンに提案を募集し、
222件の御提案をいただきました。
その中から表彰対象提案が決定し、
12月26日（月）に表彰式が開催されました。
今回は、その様子を御紹介します。



市長からのメッセージ



- ・yahooやgoogleで「職員提案」と検索すると、本市HPがトップに表示されるほか、他市から視察が来るなど、本市の職員提案制度は注目されている。
- ・制度は職員にも浸透しており、今年度も、222件の提案が寄せられた。
- ・特に、今年度は団体提案が多く寄せられ、組織ぐるみの事務改善が浸透してきた結果であると考えている。
- ・100年先も持続可能な都市として生き抜くため、実践力のある職員提案制度の推進が求められており、今後も、現場の職員の意見を活用しながら、取組可能なものから、速やかに実践してほしい。

受賞者からのコメント

提案しようと思ったきっかけや、
提案のポイントについて、
受賞者の一人ひとりから
コメントをいただきました。



提案のきっかけやポイント

<実績提案：事務効率化部門>

携帯端末機による国民健康保険税の口座振替申込事務の効率化のほか、正確な事務処理の効果が得られており、市民の皆さまからも好評です。



市営住宅使用料滞納整理事務の効率化
・今回、滞納者に対する訴訟手法を確立した結果、滞納額が減少しました。今後、滞納者・滞納額を減らせるよう、事務の見直しを続けていきます。

投票事務における人材派遣の活用
今回の取組を実践したことで、「従事者の確保」と「選挙費の減少」という2つの課題の解決につながりました。



提案のきっかけやポイント

<実績提案：市民サービス向上部門>



子育て世代の託児付き検診による受診しやすい環境づくり
今回、「託児付き検診」を行ったことで、これまで受診しにくい環境にあった子育て世代の受診につなげることができました。今後も、受診しやすい環境づくりに努めたいと思います。

窓口におけるプライバシーの確保と各種制度の周知

従来のオープンカウンターに「仕切り板」を設置するとともに、混雑時以外は「隔席」で受け付けることで、お客様のプライバシーを確保することができました。今後も、工夫していきたいです。



空き地の適正管理に関する見える化指導

空き地の現状を知らない土地所有者（特に遠隔地居住者）に現場写真を添付した通知を発送することで適正管理の意識が向上し、その結果、近隣住民からの相談件数が減少しました。

提案のきっかけやポイント

<実績提案：ECO(エコ)な取組部門>



大谷石の瓦礫の有効活用

- ・大谷石を玄関に敷くことで、「瓦礫の有効活用」、「気温上昇の抑制」、「美的な装飾の確保」などの改善効果が得られました。
- ・また、「保水能力」のある大谷石を敷設したことで、ゴーヤの生育がよくなり、立派な緑のカーテンが出来ました。

配水管理センターにおける電力使用量の削減
機器の更新にあわせ、「機器の小型化」や「高架水槽の低位置化」に取り組み、前年比、電気使用量27%、電気料金約22万円を削減しました。



グリーンカーテンの地元中学生との協働設置による節電取組の普及

- ・地元の中学生や地域協力者とのゴーヤの栽培を通して、地域全体での節電対策の普及を図りました。また、収穫物の試食など、食育の取組も併せて推進しました。
- ・小中一貫教育が始まるので、今回は小中学校と連携したいです。

提案のきっかけやポイント

<自由提案>

サマータイム期間以外のリミットタイムの設定

「電気使用量」や「残業時間」の削減効果が期待できる「リミットタイム制度」は、夏季限定ではなく、通年で取り組むことで、さらなる削減が期待できると考え、提案しました。

問い合わせ対応用の手続き簡易チェックフローの作成

件数の多い問い合わせに対して、見やすく分かりやすいフロー形式の資料を電話近くに常備することで、「正確」で「迅速」な回答を「漏れなく」行えるようにしたいと思い提案しました。

各課の啓発物品一覧表による情報共有

みんなでまちづくり課では、日ごろ、啓発物品についての問い合わせを頻繁に受けており、事務の効率化を図るため提案しました。

提案の実現により、啓発機会の増加や啓発物品の共同開発などの効果が見込めると思います。

